

CHOUB (シューブ)

ヴォイスレーナーの桜田、協力してくれるたくさんのミュージシャン、歌が大好きなメンバーで構成されるゴスペルクワイヤーです。



シューブとストリートチルドレンは、サポートし合う間柄です。与えられた歌声で、教会や路上、ライブハウスで歌い、頂いた出演料と献金によってストリートの子もたちが支えられ、子どもたちの笑顔を励みに活動が続けられます。

これからも神様に必要とされるクワイヤーでありたい、と心から願っています。そして、孤独、大きな悲しみ、深い苦しみに明日に絶望している人たちが、イエス様の愛に触れるきっかけになれば…たとえその人が私たちの知らない土地の知らない人であっても、喜びであることに変わりはありません。

マニラの子どもが描いた絵

ストリートチルドレンや、シューブについて
もっと詳しく知りたい！
という方はホームページまでどうぞ

シューブホームページ：
<http://www.choub.org/>

ストリートチルドレン支援に関するお問い合わせや出演依頼は
support@choub.orgまで。

CDのご紹介

Choub / Bread from Heaven

1. In Your Hands
2. Everyday We Praise Him
3. Jesus You're My Savior

※ホームページでは聴けます

STL-1123 ¥1,000- (税込み)

※こちらのCDの売上げはマニラのストリートチルドレン支援に使われます。



CHOUB
<http://www.choub.org/>



知っていますか?

ストリートチルドレン

シューブは
マニラのストリート
チルドレンを支援
しています。

ストリートチルドレンってどんな子ども?

ストリートチルドレンとは毎日の食べ物を得るために路上にいる「働く子どもたち」のことです。1998年にユニセフを中心に行われた調査によると、その数はフィリピンに約150万人、首都マニラには10万人以上にのぼり、今なお増え続けています。その中には、家族と暮らしながらも家計を支えるために働く子どもや、親の虐待が原因で家族から完全に離れ、子どもだけで生活をしている子どもたちがいます。彼らは、一日の大半を、物乞い、お金になるゴミの収集、くつみがき、車みがきなどの「仕事」をして暮らしているため、学校にも行くことができず、将来の夢を叶える環境さえも持てない状況に置かれているのです。



なぜシューブはストリートチルドレンをサポートをしているの?



2001年3月、マニラでストリートチルドレンのケアをしているラリー牧師との出会いがありました。桜田が「まずは何が一番必要なのですか?」と彼に聞くと、「気かけられること、愛されることです」という答えが返ってきました。この言葉と、それを献身的に実行するラリー牧師の姿が、サポートのきっかけとなりました。

2002年には小さな学校ができました。23人の児でスタートし、今日もたくさんの子もたちがここで勉強しています。2005年には、スモーキーマウンテン地区に、学習センター「CHOUB」がオープン。この名前は、CHildren Overflow with Ultimate Blessings (祝福に満たされた子どもたちがあふれ出る場所) という意味を含めて名づけられたそうです。



←教室でピース!



マニラで子どもたちをサポートするラリー牧師

僕は5歳のとき、アルコール依存症の父親の虐待から逃れるために家を出ました。7歳のある日、ガソリンスタンドに止めてある車の中で寝ていると、ひとりのおじさん(後に牧師だと知る)に起こされ、パンをもらいました。そして「イエス様は命をかけてまでそのままの君を愛しているんだよ」と教わりました。このとき、初めて自分に価値を見出すことができたのです。イエス様に出会った瞬間でした。

そんなかつてのストリートチルドレンは現在、フィリピン・クリスチャン教会の牧師をしています。ラリー牧師はじめ、現地の職員が直接子どもたちに手を差し伸べることで、シューブのサポートが実現できるのです。



はなれていても、祈りにつながっています

←お絵かきをする子どもたち

ストリートチルドレンのためにできることは?

「物」や「お金」を提供することも大切ですが、まずは、どうかストリートチルドレンについて知って下さい。そして、今日も路上で暮らしている子の手を思い、その手を握ってみて下さい。これこそがサポートの第一歩なのです。

お祈りをする子どもたち

